

今週のお祈り 降臨節第2主日特禱

慈しみ深い神よ、あなたは悔い改めを宣べ、救いの道を備えるため、預言者たちを遣わされました。その警告を心に留め、罪を捨てる恵みをわたしたちに与え、贖い主イエス・キリストの来臨を、喜びをもって迎えることができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン



日本聖公会 東京教区
聖パウロ教会 にちようがっこう

〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1
でんわ: 03-3710-6031

号外 177

発行日
2023年
12月10日

降臨節(アドベント)に入り、2回目の主日となりました。イエスさまのお誕生(クリスマス)に向けて準備を進めています。日曜学校では12/24(日)聖餐式でミュージックベルを奉演します。鈴もあるよ。みんな来てね!



今週の聖書 マルコによる福音書 1:1-8

1 神の子イエス・キリストの福音の初め。2 預言者イザヤの書にこう書いてある。／「見よ、私はあなたより先に使者を遣わす。／彼はあなたの道を整える。 3 荒野で叫ぶ者の声がする。／『主の道を備えよ／その道筋をまっすぐにせよ。』』そのとおり、4 洗礼者ヨハネが荒野に現れて、罪の赦しを得させるために悔い改めの洗礼(バプテスマ)を宣べ伝えた。5 そこで、ユダヤの全地方とエルサレムの全住民は、ヨハネのもとに来て、罪を告白し、ヨルダン川で彼から洗礼(バプテスマ)を受けた。6 ヨハネは、らくだの毛衣を着、腰に革の帯を締め、ばったと野蜜を食べていた。7 彼はこう宣べ伝えた。「私よりも力のある方が、後から来

聖書からのメッセージ 「心を神さまに」 主教 高橋 宏幸

洗礼者ヨハネは、ヨルダン川で洗礼を人びとに授けていました。その生活ぶりや身なりはとても質素で、貧しくさえ見えました。けれども、それは食べるものや着るものが無くて貧しいというよりも、本当に必要なものを大切にする姿であったといえます。さらにヨハネは大切なことを人びとに勧めますが、それを「悔い改めなさい」という言葉で力強く伝えました。その意味は反省するというよりも、「大切ないのちを授けてくださった神さまに心を向けなさい。そして、その神さまを大切にし、感謝の心を大切にしてください」ということでした。間もなくイエスさまのお誕生を迎えますが、普段以上に神さまの温かさに心を向けたいと祈り、願います。

られる。私は、かがんでその方の履物のひもを解く値打ちもない。8 私は水であなたがたに洗礼(バプテスマ)を授けたが、その方は聖霊で洗礼(バプテスマ)をお授けになる。」